

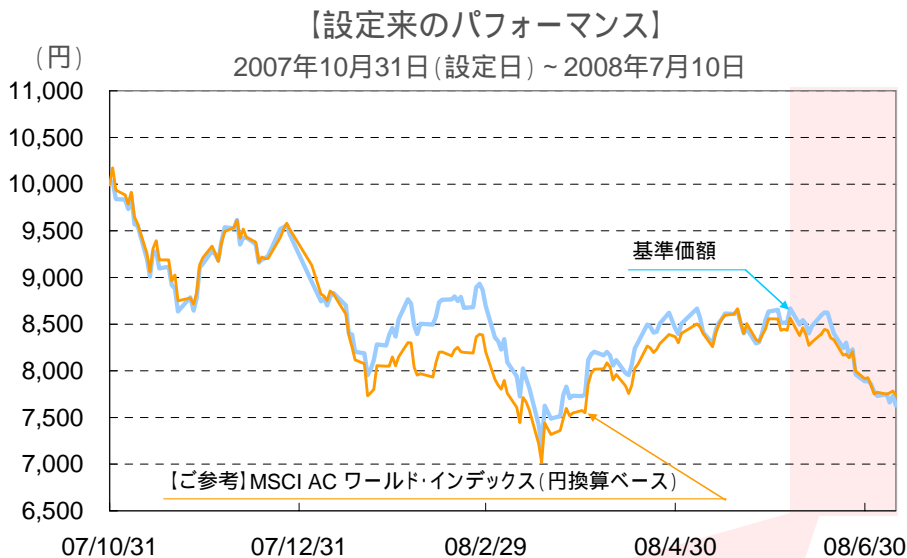
2008年7月11日
日興アセットマネジメント株式会社

「日興・ジャンナス・グローバル・オポチュニティ・ファンド」
基準価額の推移と今後の運用方針について

足元の基準価額の動向について

「日興・ジャンナス・グローバル・オポチュニティ・ファンド」の基準価額は、2008年3月を底に反転したものの、世界的な株式市場の下落などを背景に2008年6月以降、再び低下傾向となっています。

次頁に当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社である、ジャンナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーからのコメントをご紹介します。



2008年6月6日は、当ファンドの基準価額が直近の高値を付けた日です。

基準価額(1万口当たり)	2008/6/6	2008/7/10	騰落率
「日興・ジャンナス・グローバル・オポチュニティ・ファンド」	8,669円	7,629円	-12.00%
【ご参考】	2008/6/6	2008/7/10	騰落率
MSCI AC ワールド・インデックス(円換算ベース)	8,566円	7,737円	-9.69%
【ご参考】	2008/6/6	2008/7/10	騰落率
為替(ドル/円、仲値)	106.06円	106.93円	0.82%
【ご参考】	2008/6/5	2008/7/9	騰落率
MSCI AC ワールド・インデックス (トータルリターン、米ドルベース)	593.97	532.08	-10.42%

グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額は、信託報酬(年率1.8375%(税抜1.75%))控除後の1万口当たりの値です。

MSCI AC ワールド・インデックスは新興国を含む世界の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

MSCI AC ワールド・インデックスに関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

MSCI AC ワールド・インデックス(円換算ベース)とは、MSCI AC ワールド・インデックス(トータルリターン、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算し、設定日を10,000円として指数化したものです。

MSCI AC ワールド・インデックス(円換算ベース)は、あくまで参考であり、当ファンドのベンチマークではありません。

足元の投資環境と今後の運用方針について

<最近の世界の株式市場の動向について>

エネルギー価格の上昇、米国住宅市場の低迷、米FRB(連邦準備制度理事会)の経済成長重視からインフレ重視への政策スタンスの変更などを受け、世界の主要株式市場は、6月以降軟調な展開となっています。商品価格の上昇の恩恵を受けてここ数ヵ月好調に推移していた中南米諸国の株式市場でさえも、下落基調を辿っています。FRBが昨年9月から続けてきた利下げの見送りを6月に決定すると、世界の主要中央銀行がそれに追随するような形で引き締めスタンスを取るようになり、このことが相場全般の重石となりました。セクター別では、金融および一般消費財・サービス関連の下落が目立ちました。一方、原油価格の一段の上昇を受け、エネルギー関連などは相対的に堅調に推移しました。

<ポートフォリオについて>

最近の米国の経済データによれば、住宅価格の下落、エネルギーおよび食料価格の上昇、雇用環境の悪化懸念などを背景に、消費者心理が冷え込んでいることが示されています。弊社では、マクロ経済データの予測そのものは行ないませんが、むしろ考えられる経済シナリオにおいて保有株式にどのような影響を与えるのか、という点についてのリサーチに労力を費やしています。足元では、信用市場の逼迫と、それが実体経済に与える影響について引き続き注視しています。米国の商業銀行、投資銀行は、今年3月の大手証券会社の破綻・救済買収を受け、最悪期を脱したとの見方などから、その後、株価が反発しました。しかし、その上昇分のほとんどは、6月から7月初旬にかけての下落局面で相殺される格好となりました。弊社のアナリストチームは、有効なビジネスモデルをもつ多数の企業が魅力的な株価バリュエーションで放置されていると考えられることから、長期的な観点では、金融セクターに有望な投資機会が存在するとみています。ただし、現状では、他の多くのセクターにおいて、より広範囲な投資機会があると判断していることから、商業銀行、投資銀行などを含む金融セクターについては、総じて慎重なスタンスで臨んでいます。

<今後の運用方針について>

当ファンドでは、保有資産が過小評価されている不動産関連企業(業種分類では、金融セクターに含まれます)、リスク・リターン特性の観点から明らかに割安に放置されていると判断される企業に注目しています。これまで通り、当ファンドでは投資対象をグローバルに捉え、その企業の本源的価値や保有資産の観点から、明確な非対称リスク・リターン特性を持つ企業を日々モニター・発掘しています。こうした質の高い企業は、資本市場など、外部からの資金調達に依存することなく、自ら創出したキャッシュフローによって自己成長することが可能であると考えています。

上記は、「日興・ジャナス・グローバル・オポチュニティ・ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社であるジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーからのコメントです。

以上

<ご参考> 当ファンドの組入上位国と組入上位業種 (2008年6月末時点)

【株式組入上位10ヵ国】

	国名	比率
1	アメリカ	60.3%
2	日本	5.2%
3	インド	4.8%
4	ブラジル	3.8%
5	マレーシア	3.7%
6	カナダ	3.5%
7	シンガポール	3.5%
8	香港	3.3%
9	ベルギー	3.0%
10	イギリス	2.5%

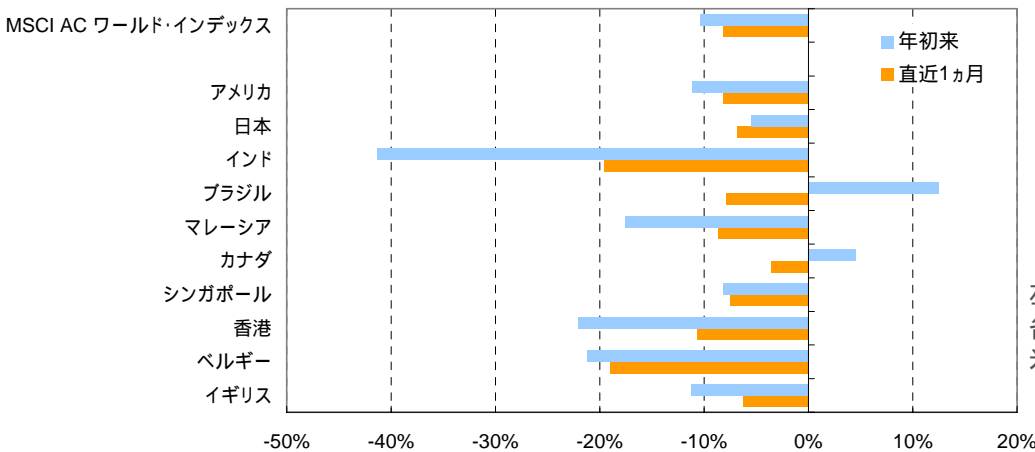
【株式組入上位5業種】

	業種	比率
1	エネルギー	23.4%
2	金融	20.4%
3	一般消費財・サービス	19.8%
4	素材	12.1%
5	ヘルスケア	8.7%

マザーファンドの状況です。
「株式組入上位10ヵ国」の比率は、対純資産総額比、
「株式組入上位5業種」の比率は、対組入株式時価総額比
です。

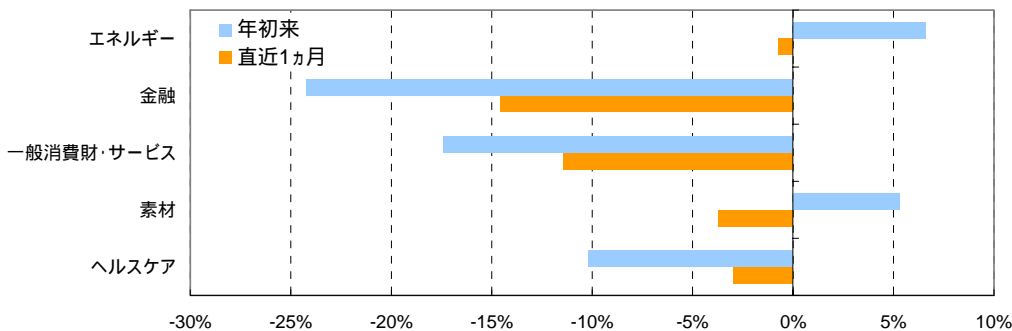
<ご参考> 各種指数の騰落率 (2008年6月末時点)

【主な株式市場の騰落率】



左記グラフの騰落率は、MSCIの
各国指数(トータル・リターン、
米ドルベース)を使用しています。

【主な業種別指数の騰落率】



左記グラフの騰落率は、MSCI
AC ワールド・インデックスの
業種別指数(米ドルベース)
を使用しています。

MSCI の各インデックスに関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

お申込みに際しての留意事項

● リスク情報

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

一般に新興国の株式は、先進国の株式と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【カントリー・リスク】

投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。

情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

ファンドの投資対象株式が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる面がある場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

お申込みに際しての留意事項

● その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「日興・ジャンナス・グローバル・オポチュニティ・ファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型株式投資信託 / 国際株式型(一般型) / 自動けいぞく投資適用
- お申込単位 : (新規申込)10万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位
別に定める場合この限りではありません。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 : 取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 平成29年9月29日まで(平成19年10月31日設定)
- 決算日 : 毎年9月30日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
- ご解約価額 : 解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- ご解約不可日 : 解約請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、解約請求の受付は行ないません。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご解約代金のお支払い : 原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 手数料等の概要 : お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用>

お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。

1億円未満	3.15%	(税抜3.00%)
1億円以上5億円未満	1.575%	(税抜1.50%)
5億円以上10億円未満	0.7875%	(税抜0.75%)
10億円以上	0.525%	(税抜0.50%)

別に定める場合この限りではありません。

分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金(解約)手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額(1口当たり)

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.8375%(税抜1.750%)を乗じて得た額

その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
【ホームページ】 <http://www.nikkoam.com/>
【コールセンター】 0120-25-1404
(午前9時~午後5時、半休日となる場合は午前9時~正午。土、日、祝・休日は除く。)
- 投資顧問会社 : ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
- 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
- 販売会社 : 日興コーディアル証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号
加入協会: 日本証券業協会、(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
(社)金融先物取引業協会